



JA宮崎経済連
事業案内



Our History

あゆみ

農業協同組合は、農会から産業組合へ、さらに農業会という農業団体の時代を経過し、戦後昭和22年に制定された農業協同組合法にもとづき設立されたものである。

以来約70年間、農家組合員の協同の力でつくられた組織として、販売・購買・信用・共済等各種の事業を行い、農家の豊かな営農とくらしを求めて活動している。JA宮崎経済連の前身は、大正6年の産業組合法により発足した信用販売購買利用組合連合会にさかのぼるが、JAの県段階組織として農家およびJAの大きな期待のもとに昭和28年4月1日、当時の販売・購買の二連合会が合併して設立された。

その後、北諸県郡を一円とした南部販購連と昭和34年10月1日に合併し、さらには県酪連と平成13年4月1日に合併を行い今日に至る。

Mission

使命

- 生産者の所得向上
- 宮崎県農業の発展
- 食の架け橋としての社会貢献
- 相互扶助による連携

Philosophy

経営理念

JA宮崎経済連は「変革」「創造」「貢献」、この3本の柱に基づき、協同組合理念に基づいた人財を育成しながら、経営資源を総合的に活用し、宮崎県農業の発展と組合員の暮らしのために、最高の機能を発揮します。

変革

Revolved Transform

私たちは、協同組合として常に自らの変革に努め、組合員、消費者、社会のニーズに応えることのできる組織になることを目指します。

創造

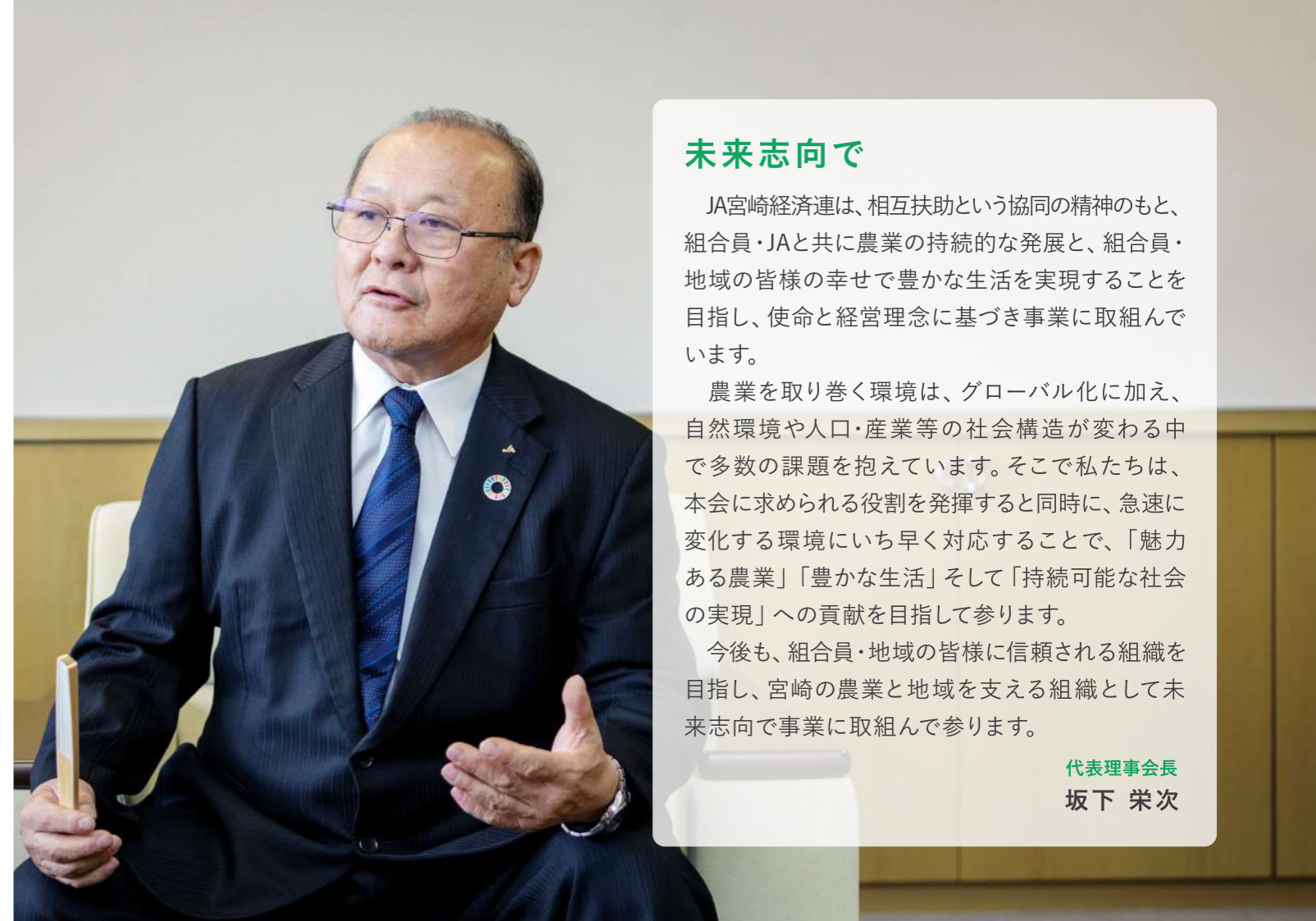
Creation

私たちは、農業県「みやざき」の持続的発展のために、新たな事業の創造に努めます。

貢献

Contribution

私たちは、「食」と「農」を通じ、豊かで活力ある地域社会を実現すべく地域と共に取組みます。



未来志向で

JA宮崎経済連は、相互扶助という協同の精神のもと、組合員・JAと共に農業の持続的な発展と、組合員・地域の皆様の幸せで豊かな生活を実現することを目指し、使命と経営理念に基づき事業に取り組んでいます。

農業を取り巻く環境は、グローバル化に加え、自然環境や人口・産業等の社会構造が変わる中で多数の課題を抱えています。そこで私たちは、本会に求められる役割を発揮すると同時に、急速に変化する環境にいち早く対応することで、「魅力ある農業」「豊かな生活」そして「持続可能な社会の実現」への貢献を目指して参ります。

今後も、組合員・地域の皆様に信頼される組織を目指し、宮崎の農業と地域を支える組織として未来志向で事業に取り組んで参ります。

代表理事会長
坂下 栄次



代表理事会長
坂下 栄次



代表理事副会長
平島 善範



常務理事
木村 能久



代表監事
坂元 芳郎



常勤監事
和田 利男

Overview

概要

名称 : 宮崎県経済農業協同組合連合会
設立 : 昭和28年4月1日
所在地 : 〒880-8556
宮崎県宮崎市霧島1丁目1番地1 JAビル 4F・5F
会員数 : 正会員21名、准会員14名
役員数 : 理事13名、経営委員2名、監事4名
職員数 : 546名 (内正職員数300名)
事業区域 : 宮崎県内一円

(令和3年3月31日現在)

Our Policy

基本方針

本県の農業は全国でもトップクラスの産出額を誇り、食料供給基地の一翼を担っているものの、国内でこれから迎える本格的な少子高齢・人口減少時代の中、農業従事者の急速な減少や高齢化、労働力不足など構造的課題を抱えている。

また、物流の改善・効率化やスマート農業への対応、疾病や自然災害への備えなど、従来の方法や役割等の単なる踏襲だけではなく、時代の変化に対応した生産・流通構造への挑戦が課題となっている。

そのようなことから、次の3つをキーワードとし、組織の経営資源を有効的に活用し事業機能を最大限に発揮することで次のステージに進め、信頼・必要とされる組織づくりと農業所得の向上及び宮崎県農業の発展を目指す。

現場力

変化する環境を見据えた現場主義での事業基盤づくり

現場主義

指導購買

農業参入

インテグレーション構築

- 積極的に現場に出向くことでの信頼関係の構築
- 指導事業を中心とした専門性を高め、生産性・技術力向上に基づく農業基盤づくり
- 経済連グループの農業参入を含めた生産基盤の維持拡大への貢献
- 買取や直接販売など環境変化に応じた新たな事業の取組み強化
- IoT等新技術の活用や労働支援への対応強化

総合力

事業連携による潜在能力の最大化とそれに基づく産地の牽引

トータルコスト低減

事業連携

物流の改善・効率化

バリューチェーン構築

- 県域・他県連携等によるトータル生産コスト低減
- ブランド戦略に基づく販売戦略の実践
- 協同会社事業連携による相乗効果の発揮
- 県域構想や産地又は将来ビジョンに基づいた施設・物流の整備と合理化
- 取引先と一体となったバリューチェーンの構築
- 経済連の取組み・成果発信による理解醸成

実行力

緻密な計画に基づく確実な実行とチャレンジ精神による組織・人材の成長

明確なビジョン

プロセス管理

チャレンジ精神

人材育成

- 取り巻く課題に対する中長期的ビジョンづくりと徹底したプロセス管理による目標達成
- チャレンジ精神と新しい事業の創造
- 創造性を発揮し前例主義にとられない姿勢

営農部

営農部は、信頼される産地体制を目指し「安全・安心」な農産物を生産するために必要な肥料・農薬・農業機械・施設資材等を県下JAを通して組合員へ供給しています。また、農家経営の安定化に向け、新たな生産体系の構築や生産面の課題解決、トータル生産コスト低減に向けた取組みを展開し、生産基盤の維持拡大と農業所得の向上を図ります。

営農振興課



施設園芸ハウスでの農業実践による先進技術の確立



品質向上・生産拡大を目指した現地巡回指導



営農指導員の資質向上に向けた研修会の実施

野菜・果樹・花卉の生産振興、営農指導員の育成・研修

生産資材課



土壌診断に基づく適正施肥とBB肥料の普及推進



環境に配慮した天敵農薬の普及拡大



生産資材の専門知識を有した人材の育成

肥料・農薬・園芸資材・包装資材の取扱い、BB肥料の製造・供給

農機施設課



共同購入トラクターの推進



型式設定による低コスト農機の普及



農業機械レンタルの普及拡大

農業機械・部品・自動車の取扱い、中古農機・農機レンタルの取扱い、農業機械・自動車の整備、施設・ハウス等の設計及び施工監理

園芸部

園芸部は、宮崎県内で生産された「野菜」「果物」「花卉」を全国へ安定供給しています。また、物流・販売改革として集出荷施設再編整備と物流体制の再構築を進めるとともに、直販事業の拡大や産地ニーズと消費地ニーズとのマッチングや耕種版インテグレーションモデルを確立し、生産基盤の維持と農業所得の向上を図ります。

販売流通課



県内JAと一体となった販売や販促PR

青果物・花卉の販売、代金精算、物流体制の整備



付加価値をつけた差別化販売の取組み



集出荷施設・青果物輸送体制の整備に向けた取組み

園芸直販課



直接営業販売による売場の確保

青果物の買取販売、取引先への直接営業販売、青果物の加工・包装（青果センター）



集荷機能を活用した買取販売の強化



取引先・消費地ニーズに合わせた青果センター独自の加工・包装

営業開発課

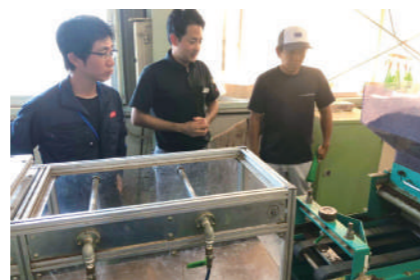


無人トラクターの活用実証

加工業務向け野菜の契約栽培推進、分業化に向けた機械化体系の構築、スマート農業の実践



機械化一貫体系に基づく収穫・集荷等の分業化



協同会社と連携した原料集荷体制の一元化

米穀特産部

米穀特産課



買取による集荷拡大と取引先への直接販売強化

米穀特産部は、宮崎県内で生産された「宮崎米」「みやざき茶」「乾しいたけ（原木栽培）」を全国へ販売しています。

また、実需に応じた米の生産振興やみやざき茶の有望品種への新改植推進、椎茸の生産基盤維持・拡大に取り組んでいます。

米・茶・乾しいたけの販売、代金精算



品質及び産地評価向上に向けた取組み



安定生産に向けた平地型栽培の実証

燃料生活部

燃料課



営農用・自動車用燃料やLPガスの安定供給

燃料生活部は、組合員の営農と生活に必要な燃料・生活用品を供給しています。燃料事業体制の整備や必要とされる資材・サービスの提供など、組合員・地域住民の営農サポートやくらしの支援事業の仕組みづくりに取り組んでいます。

石油・ガス類の取扱い、JA-SS・JA LPガスの指導研修



JA-SS店舗運営のモデル的取組み



保安・営業力強化にむけた人財育成

組織生活課



JAや女性部を対象としたエコープマーク品研修会

共同購入品・葬祭資材・地産地消商品の取扱い



JA葬祭サービスレベル向上のための研修及び人財育成



夕食宅配サービス提供による組合員・生活者のくらし支援

酪農飼料部

酪農飼料部は、家畜の健康と安全を飼料の安定供給と衛生対策で守るとともに、新鮮な生乳と卵の生産販売を支援し、畜産農家の所得確保と経営安定を図ります。

また、関係先との事業連携により生産基盤の維持・拡大及び生産性向上に取り組めます。

飼料養鶏課

飼料・畜産資材等の供給、鶏卵販売、養鶏生産技術指導



低コスト飼料の供給拡大



効率的な飼料製造及び供給体制の整備



養鶏基盤維持・拡大に向けた農家巡回指導

酪農課

生乳の集荷・販売、生産者への生産技術・品質指導



生乳生産基盤の維持・拡大に向けた乳牛素牛供給の取組み



生産性向上に向けた農家巡回指導



県産牛乳の消費拡大及び理解醸成活動

家畜衛生対策課

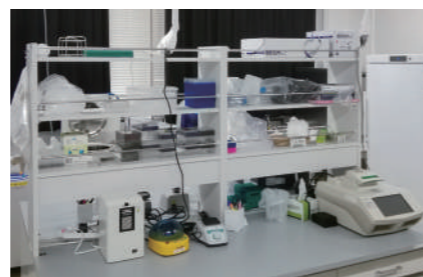
家畜の飼養衛生管理・防疫指導、家畜診療、受精卵事業、家畜衛生検査



防疫強化の啓発



生産基盤の維持に向けた受精卵事業強化



家畜衛生検査の強化

畜産部

畜産部は、宮崎県の畜産生産基盤の維持拡大・生産性向上を主軸とし、畜産農家の経営指導と飼養管理技術の指導を行うとともに、安全・安心な畜産物を消費者に安定供給するための生産から販売まで一貫した体制を進めています。また、関係先との事業連携を通じて畜産農家所得確保並びに経営安定化に取り組めます。

肉用牛課

肉用牛の取扱い、宮崎牛・県産牛の販売促進



生産基盤の維持・拡大に向けた農家巡回指導



安定的な肉牛集荷・販売体制の確立



宮崎牛のブランディングと販促強化

養豚課

子豚・種豚等の取扱い、肉豚販売促進、宮崎ブランドポークの普及促進



生産基盤の維持・拡大に向けた農家巡回指導



優良な子豚・種豚の安定供給



宮崎ブランドポークのプロモーション活動

養豚農場運営課

直営農場の運営、養豚生産システムの実証



子豚の安定供給体制づくり



オールイン・オールアウト方式実践



堆肥循環型農業の構築

事業戦略部

経済連グループが選ばれる組織となるため、新たな事業連携を推進するリーダーシップや効果的な広報活動、最適な輸出事業の構築を図るとともに、ニーズに対応した商品開発や指導購買と連動した検査・分析に取り組む地域農業への貢献を図ります。

事業推進課



広報番組



広報誌

事業連携、新規事業の企画、食農教育、広報PR活動、農産物のブランド確立推進、輸出事業推進、海外マーケティング活動の企画・実施



県外量販店でのフェア実施によるブランドPR

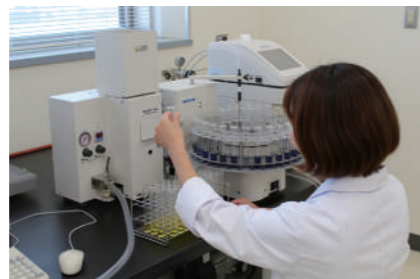


産地メリット還元を目的とした海外取引ルート開拓

開発検査課



生産から販売まで一体となったニーズ対応型商品の開発



検査・分析を活かした安全・安心の取組み



教育機関と連携した「共同研究」の取組み

商品開発・食品分析、品質管理支援（協同会社）、産学連携・共同研究、各種分析を通じた営農指導支援

経営企画部

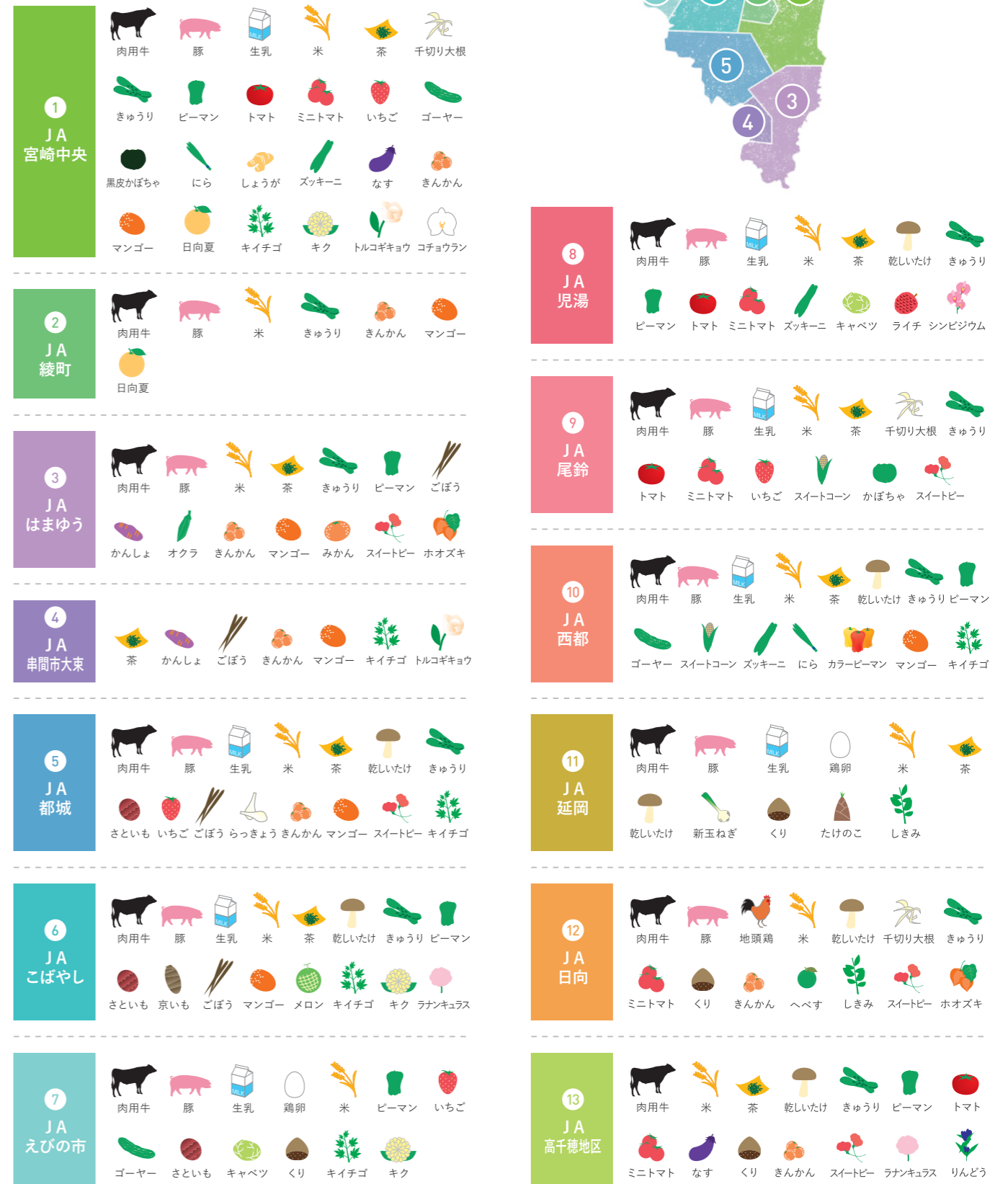
- 経営企画課：経営方針策定、事業計画及び予算の統制、決算、管財、税務
- 財務課：債権保全管理、債務管理、資金管理
- 関連事業課：協同会社の運営管理及び新規事業の企画

総務部

- 総務課：人事・給与・労務管理、採用、教育研修、人財育成
- コンプライアンス推進課：コンプライアンス推進、内部検査業務

産地マップ

県内JAの
主要農畜産物



Our Brand みやざきブランドづくり

みやざきブランドは、「特長ある商品づくり」「信頼される産地づくり」「安定的な取引づくり」を3本柱として、生産・販売・PRが一体となった取組みを行っています。



推進のための3本柱

Promotion 001

特長ある商品づくり

美味しさや鮮度、オリジナリティなど基準を定め他県産地にはない特長をもった商品を「商品ブランド」として認証するとともに、全国に先駆けて栄養機能成分の分析を行い、健康に着目した商品づくり（保健機能食品の商品化）に取り組んでいます。



Promotion 002

信頼される産地づくり

全てのブランド産地にて「GAP取組み」の普及・定着への支援や、モデル産地での「GAP取得認証」に向けた具体的支援に取り組むとともに、現場に軸足を置いた生産性・品質向上に向けた対策に取り組んでいます。



Promotion 003

安定的な取引づくり

ブランド戦略を共有する「バリューチェーンパートナー」とビジネスパートナーとして持続可能な取引づくりを目指し、トップ会談や営業強化に取り組んでいます。ブランド戦略「Karada Good Miyazaki」を基軸としたPRや異業種・消費者との連携により、みやざきブランドの定着とファンづくりに取り組んでいます。



みやざき
ブランド
推進本部
Webサイト



みやざき
ブランド
推進本部
facebook



Karada
Good
Miyazaki
Webサイト



Our Initiative 安全安心の取組み

GAPの取組み

GAPは「農業生産工程管理」とも言われ、農業経営や生産現場に潜む様々なリスク（食品安全・環境保全・労働安全など）に対応する継続的な「改善活動」です。「安全・安心」な農畜産物の安定供給を行うための農業生産の基礎として、また農家経営とリスクから産地を守るために「GAP取組み」の普及・定着化を目指します。



園芸の取組み

「整理・整頓・清掃・清潔・セーフティ」からなる「みやざきブランド産地のGAPルール（5S活動）」をもとに「GAP取組み」の普及・定着化及び認証性GAPの団体認証に向けた支援を行っています。



茶の取組み

茶の品質及び安全性向上に向けた取組みの一環と、販売先ニーズへ対応するため、第三者認証GAPの取得・維持・拡大に向けた支援を行っています。



畜産の取組み

衛生対策・生産管理体制の統一化を図り、生産性向上に向けた取組みの一環として、養豚直営農場が「GAPチャレンジシステム農場」に認定されました。今後はJGAP認証取得を目指します。

Topic



GLOBAL G.A.P. 団体認証取得

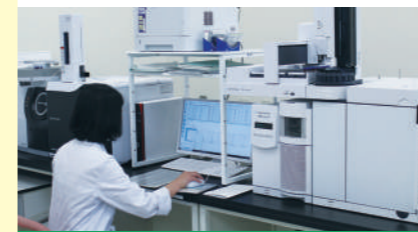
令和2年4月に宮崎県内JA 4部会と関係JA及びJA宮崎経済連は、農産物生産管理の国際基準であるGLOBAL G.A.P.団体認証を取得しました。

JA宮崎中央にら部会、JAはまゆうピーマン部会の一部、JAえびの市ピーマン部会、JA尾鈴ミニトマト栽培グループ



農畜産物の検査体制・品質管理

残留農薬検査や家畜衛生検査など総合的な検査・分析業務を通じ、農畜産物の信頼性を高めるとともに、結果に基づく営農指導強化に努めています。また協同会社への品質管理支援も行っています。



情熱みやざき 農産物表示認証制度

化学合成農薬の使用回数や化学肥料（窒素成分）削減の基準値を満たした農産物を認証する制度です。食の安全・安心の確保と、環境負荷を低減した取組みを目指します。



牛トレーサビリティ

「牛がどこで生まれ、どこの誰が、どんな飼料を与えて育てたのか」を確認できるシステムです。個体識別番号で牛を一元管理し正確に伝達することで、食の安全性向上に努めています。

Web



Our Group Companies

協同会社紹介

株式会社ミヤチク



〒889-4505
都城市高崎町大牟田4251-3
TEL: 0986-62-2901
FAX: 0986-62-5529

事業内容 肉畜生産・と畜・加工・販売、直売店・飲食店運営

認 証 ISO22000 (2010.4)



宮崎県農協果汁株式会社



〒889-1301
児湯郡川南町大字川南20016-3
TEL: 0983-27-1111
FAX: 0983-27-4584

事業内容 清涼飲料水製造・販売、農産加工品製造・販売

認 証 ISO9001 (2008.9)
FSSC22000 (2013.4)



株式会社くみあい青果



〒880-0834
宮崎市新別府町雀田1185
TEL: 0985-28-1217
FAX: 0985-27-8807

事業内容 青果仲卸業務、加工業務



株式会社ビブリアル宮崎



〒880-0841
宮崎市吉村町井手ノ中甲803
TEL: 0985-65-3316
FAX: 0985-65-3328

事業内容 ギフト・オフィス用品・配置薬販売、建設請負、介護福祉用品ショップ、デイサービス、高齢者向け住宅 他



株式会社エコープみやざき

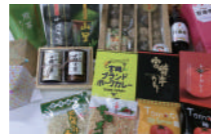


〒880-0036
宮崎市花ヶ島町鴨ノ丸829-1
TEL: 0985-31-2300
FAX: 0985-26-3441

事業内容 食料品・日用品・衣料品・酒類等販売、生鮮食品等加工・販売



株式会社宮崎経済連直販



〒880-0211
宮崎市佐土原町下田島河添19323-1
TEL: 0985-89-6180
FAX: 0985-89-6181

事業内容 農林畜水産物(茶、千切大根、椎茸、開発商品他)販売・加工包装販売 他

認 証 JAS認証 (2006.12) ※茶



ジェイエイ・アグリシード株式会社



〒884-0005
児湯郡高鍋町大字持田5734
TEL: 0983-22-3081
FAX: 0983-22-3083

事業内容 接木苗(野菜)生産、種子、園芸資材販売



宮崎石油基地株式会社



〒880-0851
宮崎市港東三丁目7
TEL: 0985-60-5140
FAX: 0985-60-5141

事業内容 石油製品受入、出荷、保管、品質分析



株式会社ミヤベイ直販



〒880-0212
宮崎市佐土原町下那珂字下ノ山2940-32(石崎工業団地内)
TEL: 0985-72-1500
FAX: 0985-72-1600

事業内容 米穀販売、搗精、加工、保管、輸送・集荷

認 証 精米HACCP (2017.3)



株式会社宮崎農産



〒884-0102
児湯郡木城町大字椎木801-1
TEL: 0983-32-3894
FAX: 0983-32-3895

事業内容 漬物製造・販売

認 証 JAS認証 (1987.7)



株式会社ジェイエイフーズみやざき



〒881-0027
西都市大字南方3398-2
TEL: 0983-43-5351
FAX: 0983-43-5372

事業内容 冷凍野菜・カット野菜製造・販売、自社農場運営

認 証 GLOBAL G.A.P. (2018.5)
FSSC22000 (2018.8)



一般社団法人宮崎県酪農公社



〒885-0224
都城市御池町無番地
TEL: 0986-33-1816
FAX: 0986-33-1709

事業内容 乳用牛預託事業(保育・育成)、生乳生産、肉用牛(和牛繁殖・受精卵供給)、飼料生産



株式会社霧島農産



〒886-0006
小林市北西方734-120
TEL: 0984-27-0061
FAX: 0984-27-0063

事業内容 漬物製造・販売

認 証 JAS認証 (1987.7)
ISO9001 (2012.8)



株式会社JA物流みやざき



〒880-0032
宮崎市霧島1丁目1番地1 JAビル5F
TEL: 0985-31-2120
FAX: 0985-23-3755

事業内容 農畜産物保管輸送、利用運送事業、一般貨物自動車運送事業



全農チキンフーズ株式会社



〒108-0075
東京都港区港南二丁目12-33
品川キャナルビル4F
TEL: 03-6864-0200
FAX: 03-6864-0172

事業内容 食鳥・関連食肉販売、畜産物加工・加工品販売



南日本くみあい飼料株式会社



〒890-0064
鹿児島市鴨池新町15農協会館7F
TEL: 099-258-5681
FAX: 099-254-7667

事業内容 配合飼料製造・販売

認 証 ISO9001(2003.11)



Our SDGs

SDGsへの取組み

SDGs (Sustainable Development Goals・持続可能な開発目標) とは、2015年9月の国連サミットで採択された国際社会共通の目標です。2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すために、貧困・飢餓・気象変動など人類・地球全体が直面する問題を解決するための17のゴールから構成され、地球上の「誰一人取り残されない」ことを誓っています。

J A宮崎経済連は、協同組合精神と使命・経営理念に基づき、様々な事業の実践を通じてSDGsの達成を目指します。



食育活動を通した本県産農畜産物への理解醸成



スマート農業(ICT技術)の普及による
土壌センサーでの圃場管理



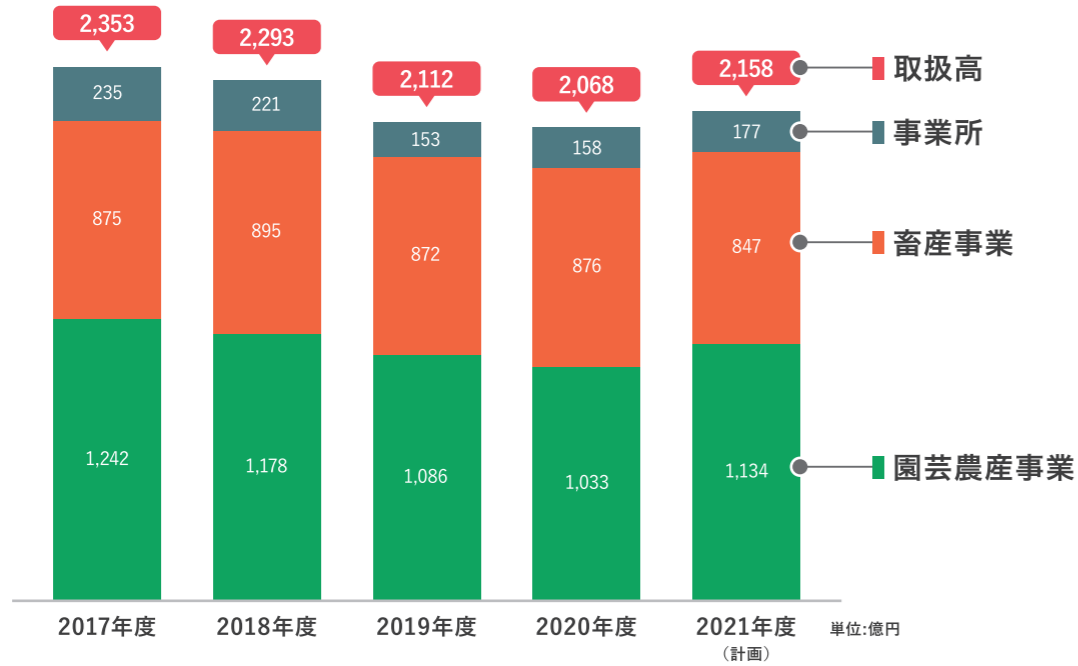
耕畜連携による環境循環型農業の
取組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

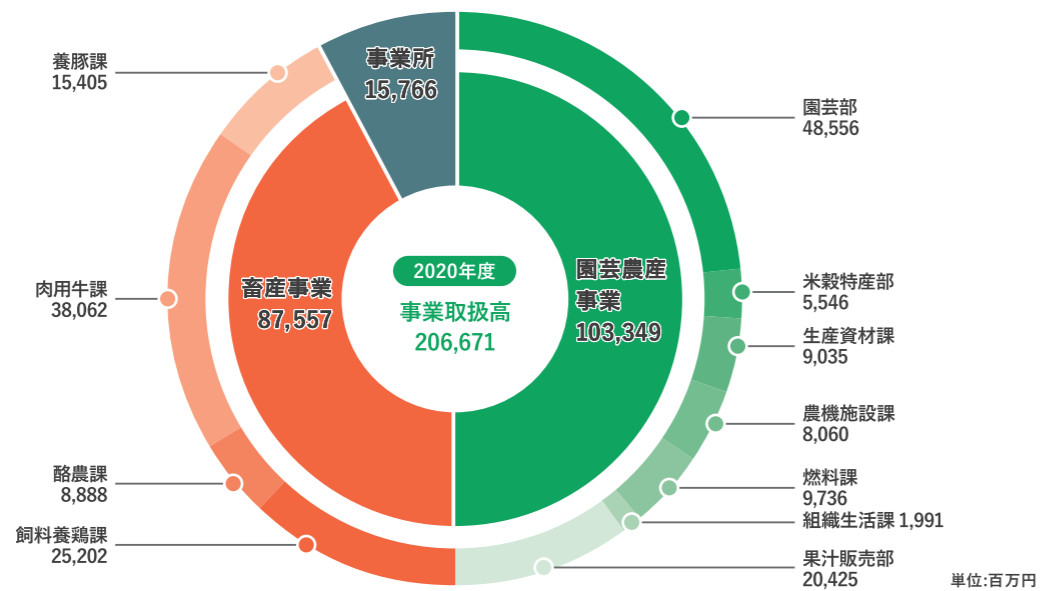


Business Transaction

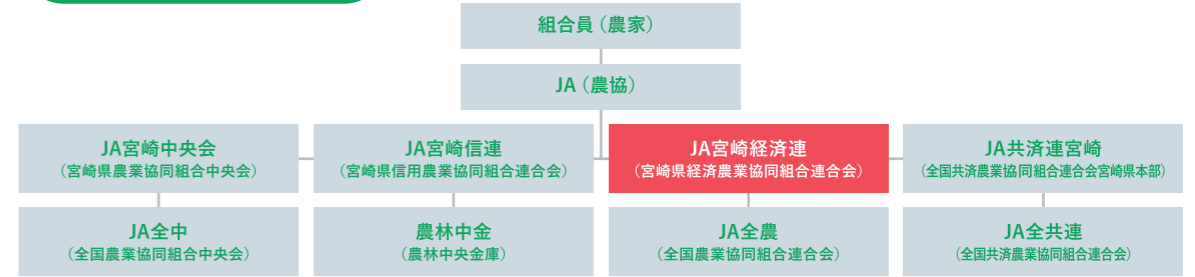
取扱高の推移



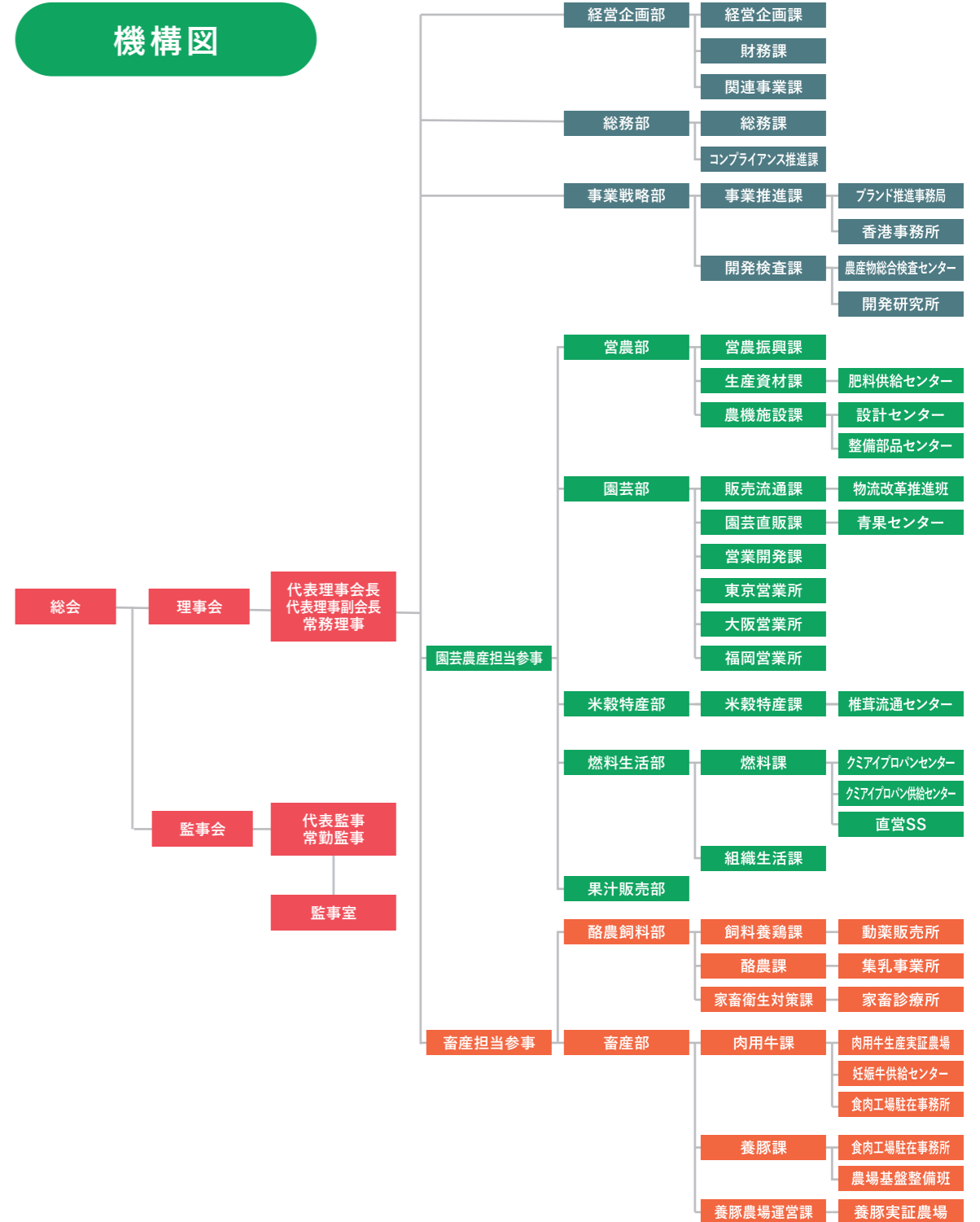
2020年度事業取扱高



系統機構図



機構図



Our Access

経済連事務所・事業所所在地



本館

〒880-8556 宮崎市霧島1丁目1番地1 JAビル4F・5F
(総務課) TEL 0985-31-2100 FAX 0985-31-5760

経済連各部署の連絡先

経営企画部 (市外局番0985)

- ◆経営企画課 31-2127
- ◆財務課 31-2117
- ◆関連事業課 31-2406

総務部 (市外局番0985)

- ◆総務課 31-2100
- ◆コンプライアンス推進課 31-2129

事業戦略部 (市外局番0985)

- ◆事業推進課 31-2150
- ◆開発検査課 63-5641

営農部 (市外局番0985)

- ◆営農振興課 31-2154
- ◆生産資材課 31-2332
- ◆農機施設課 31-2351

園芸部 (市外局番0985)

- ◆販売流通課 31-2162
- ◆園芸直販課 30-4525
- ◆営業開発課 31-2168

米穀特産部 (市外局番0985)

- ◆米穀特産課 31-2177

燃料生活部 (市外局番0985)

- ◆燃料課 31-2363
- ◆組織生活課 31-2302

酪農飼料部 (市外局番0985)

- ◆飼料養鶏課 31-2140
- ◆酪農課 31-2128
- ◆家畜衛生対策課 31-2414

畜産部 (市外局番0985)

- ◆肉用牛課 31-2130
- ◆養豚課 31-2134
- ◆養豚農場運営課 31-2233



バス：宮崎空港よりリムジンバスにて橋通3丁目下車、平和台線（8番線）乗り換え、花殿町下車徒歩1分（約40分程度）、宮崎駅（西口）よりデパート前まで徒歩8分、平和台線・花殿町下車徒歩1分（約20分程度）

タクシー：JR宮崎駅（西口）より10分
JR宮崎神宮駅より10分
宮交シティより15分

事業所所在地・連絡先

Contact information

◆農産物総合検査センター

〒880-0943 宮崎市生目台西三丁目2-2
TEL(0985)63-5641/FAX(0985)59-1410

◆開発研究所

〒880-0943 宮崎市生目台西三丁目2-2
TEL(0985)59-1234/FAX(0985)59-1410

◆肥料供給センター

〒880-0851 宮崎市港東三丁目7
TEL(0985)60-7539/FAX(0985)20-6106

◆設計センター

〒880-8556 宮崎市霧島1丁目1番地1 JAビル5F
TEL(0985)31-2341/FAX(0985)31-5781

◆自動車整備工場

〒880-0036 宮崎市花ヶ島町鴨ノ丸879-1
TEL(0985)31-2372/FAX(0985)29-5912

◆農機整備工場

〒880-0036 宮崎市花ヶ島町立毛996-1
TEL(0985) 31-2190/FAX (0985) 31 -5550

◆整備部品センター

〒880-0036 宮崎市花ヶ島町立毛996-1
TEL(0985)31-2368/FAX(0985)29-5911

◆青果センター

〒880-2111 宮崎市大字柏原字倉瀬384-1
TEL(0985)30-4525/FAX(0985)47-0745

◆椎茸流通センター

〒883-0033 日向市大字塩見字柳田11974-1
TEL(0982)52-5221/FAX(0982)52-5223

◆茶流通センター

〒880-0036 宮崎市花ヶ島町鴨ノ丸826-3
TEL(0985)31-2345/FAX(0985)23-9101

◆プロパン工場(クミアイプロパンセンター/クミアイプロパン供給センター)

〒880-2223 宮崎市高岡町浦之名字山田3153
TEL(0985)82-5627/FAX(0985)82-5629

◆直営SS

〒881-0005 西都市大字三宅字下鶴9402-1
TEL(0983)41-0427/FAX(0983)41-1701

◆家畜診療所

〒880-0943 宮崎市生目台西三丁目2-2
TEL(0985)31-2414/FAX(0985)31-5762

◆動薬販売所

〒880-0943 宮崎市生目台西三丁目2-2
TEL(0985)63-1278/FAX(0985)59-1573

◆霧島集乳事業所

〒889-4412 西諸県郡高原町大字西麓3241
TEL(0984)25-6700/FAX(0984)25-6701

◆肉用牛生産実証農場

〒884-0102 児湯郡木城町大字椎木字大戸亀1172
TEL(0983)32-4000/FAX(0983)32-4000

◆妊娠牛供給センター

綾農場
〒880-1303 東諸県郡綾町大字南俣5324-20
TEL(0985)77-1577/FAX(0985)77-1577

小林農場

〒886-0006 小林市北西方7778
TEL(0984)27-2150/FAX(0984)27-2150

◆養豚実証農場

養豚実証 川南農場
〒889-1300 児湯郡川南町大字川南21632
TEL(0983)27-0112/FAX(0983)27-1487

養豚実証 高原農場

〒889-4411 西諸県郡高原町広原3784-1
TEL(0984)42-5581/FAX(0984)42-5582

養豚実証 大久保繁殖農場

〒889-1301 児湯郡川南町大字川南10863-1
TEL(0983)27-5988/FAX(0983)27-6054

養豚実証 大久保第一肥育農場

〒889-1302 児湯郡川南町大字平田5902
TEL(0983)21-1350/FAX(0983)21-1350

養豚実証 大久保第二肥育農場

〒889-1301 児湯郡川南町大字川南9520-8
TEL(0983)27-5701/FAX(0983)27-5701

養豚実証 西都繁殖農場

〒881-0102 西都市平郡3996-1
TEL(0983)45-1977/FAX(0983)45-1813

養豚実証 えびの第一肥育農場

〒889-4314 えびの市大河平木屋ヶ野897
TEL(0984)33-2265/FAX(0984)33-2265

養豚実証 小林肥育農場

〒886-0006 小林市北西方八久保7703-3-1
TEL(0984)27-1052/FAX(0984)27-1052

養豚実証 野尻肥育農場

〒886-0212 小林市野尻町大字東麓梯440-1
TEL(0984)44-0909/FAX(0984)44-0909

養豚実証 御池繁殖農場

〒885-0224 都城市御池町5844-279
TEL(0986)33-2638/FAX(0986)33-2658

養豚実証 渡司農場

〒885-0221 都城市高野町2744-18
TEL(0986)33-2816/FAX(0986)33-2819

養豚実証 高崎肥育農場

〒889-4505 都城市高崎町大牟田5260-1
TEL(0986)62-1755/FAX(0986)62-1755

養豚実証 高城第一肥育農場

〒885-1311 都城市高城町有水1952-2
TEL(0986)53-1981/FAX(0986)53-1981

養豚実証 白鳥繁殖農場

〒889-4302 えびの市末永3873-4
TEL(0984)25-3855/FAX(0984)25-3855

養豚実証 野尻繁殖農場

〒886-0212 小林市野尻町大字東麓2759-2
TEL(0984)21-6335/FAX(0984)21-6335

養豚実証 山田第一肥育農場

〒889-4601 都城市山田町山田4841-6
TEL(0986)45-6760/FAX(0986)45-6761

養豚実証 高城第二肥育農場

〒885-1311 都城市高城町有水1952-19
TEL(0986)53-1701/FAX(0986)53-1702

養豚実証 山田第二肥育農場

〒889-4601 都城市山田町山田 2479
TEL(0986)64-1800/FAX(0986)64-1825

養豚実証 山田第三肥育農場

〒889-4601 都城市山田町祝谷199-95
TEL(0986)64-2112/FAX(0986)64-2112

◆食肉工場駐在事務所

(株)ミヤチク都農工場駐在事務所
〒889-1201 児湯郡都農町大字川北15530
TEL(0983)25-2309/FAX(0983)25-2275

(株)ミヤチク高崎工場駐在事務所

〒889-4505 都城市高崎町大牟田4268-1
TEL(0986)62-0550/FAX(0986)62-4869

南日本ハム(株)駐在事務所

〒883-0021 日向市財光寺1193
TEL(0982)54-2631/FAX(0982)53-8046

(株)ナンチク駐在事務所

〒889-8605 鹿児島県曾於市末吉町二之方1828
TEL(0986)76-6503/FAX(0986)76-7451

◆県外各営業所

東京営業所

〒143-0001 東京都大田区東海三丁目2-1
東京都中央卸売市場大田市場内事務棟8F
TEL(03)5492-5371/FAX(03)5492-5377

大阪営業所

〒553-0005 大阪市福島区野田一丁目1-86
大阪市中央卸売市場業務管理棟14F1405
TEL(06)6469-7743/FAX(06)6469-7746

福岡営業所

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前二丁目20-1大博多ビル5F
TEL(092)471-7310/FAX(092)471-7312

◆海外事務所

香港事務所

Unit 211 B,21 /F Exchange Tower, 33 Wang Chiu Road, Kowloon Bay, Hong Kong
TEL(852)2973-9000/FAX(852)2623-9192

